

士幌町長 小林 康雄 殿

士幌町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 東村 達夫

副主任監査員 森 孝男

副主任監査員 小澤はる奈

## 環境監査報告書

LAS-E実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査日程

令和元年 10 月 31 日 (木)

### 2. 監査対象

本庁舎：10 実行部門、外部施設：5 実行部門、計 15 実行部門  
および環境政策推進本部長、副本部長、事務局

### 3. LAS-E 監査内容

#### 【重点項目監査】

- 1 役場全体および各課のマネジメント
- 2 役場全体および各課のアクション
  - ① 仕事の改善による省エネ・省資源
  - ② 地域環境保全・本来業務での取り組み (SDGs への認識)
  - ③ 独自の取り組み
- 3 ガバナンス (コミュニケーション・協働)

参考：LAS-E共通実施項目

#### 第1ステージ

1-1～1-30 (1-12、1-23、1-30 を除く) 計 27 項目相当

#### 第2ステージ

2-1～2-6、2-8～2-10、2-12、2-14～2-17、2-21、2-22、2-25～2-30

計 21 項目相当

## 4. 総合所見

土幌町環境マネジメントシステムの監査を LAS-E II 規格に準拠した方式で実施しました。その結果と評価は以下の通りです。

取り組み状況については、運用の手引きに記載された取り組みが着実に実践されていました。すぐれた取り組み (◎) として 7 項目が選定され、要改善事項 (△) はありませんでした。◎評価の取り組みの多くは、本来業務の特性を反映し、これを効率化することによる環境負荷の低減や地域住民への情報発信に繋げている事例でした。働き方改革に対する意識も高まっており、このことを背景に各部署で業務改善に伴う環境配慮が進展していくことが期待できます。本報告書には◎評価の事例ごとにポイントを記載しましたので、ぜひ参考にしてください。

以下、項目別に詳細を述べます。

### 1. 役場全体及び各課のマネジメント

昨年度の監査では、すべての部署で業務と SDGs の関わりを認識していただくための質問を設けました。今回は SDGs に対する認識の向上を図るため、前回監査で当該部署が回答した内容を確認し、業務とどう関連付けているかを訪ねました。SDGs を意識した業務を実施・検討しているなど前回より踏み込んだ回答をされた部署もありましたが、全体としてはまだ認識を深めていく余地が大いにありそうです。各部署の業務と関連するゴールを知ることから、他の政策課題と「統合的 (同時解決的)」に取り組む事業のあり方や、行政が有する情報を有効に活用して「透明性」を高め町政の状況を共有すること、住民・事業者の「参画性」を高める方策などが検討されるようになるとういと思います。今後も SDGs に関する学習機会を様々に設け、SDGs 視点を養ってください。

### 2. 役場全体及び各課のアクション

監査対象となった部署・施設では、運用の手引きに沿った環境配慮行動がしっかりと実行されていました。部署の特性に応じた独自の取り組み工夫が多く見受けられ、近年の監査で重視してきた「本来業務の改善による環境配慮」が根づきつつあることが感じられました。多くの施設が老朽化している中、無理な省エネを進めれば利用者の健康や利便性が損なわれ、職員の業務効率も下がってしまいます。施設の現状を客観的に判断し、快適性と効率も重視した取り組みの目標を立てるとともに、設備更新を計画的に実施していくことが必要です。上記「マネジメント」の項目で記したように、SDGs の認識が高まることで環境配慮行動や環境関連施策もより深まりが出てくると思われます。特に第 2 期環境基本計画の事業の実施において、この理念が達せられることを期待します。

### 3. ガバナンス

環境に関する情報公開、参加・協働の促進については、運用の手引きに沿った水準で実施されていました。住民や児童生徒が参加したイベントの企画・実施も継続され、さらに充実させていこうとする意欲が感じられました。環境に関する情報を直接の担当部署以外から発信する取り組みも見られました。情報発信、PR を行政全体で行うことで、住民・事業者の関心の掘り起こしはまだまだ可能と思われます。◎評価の事例も参照し、あらゆる機会をとらえて情報発信と協働の促進に注力していただきたいと思います。

以上

<すぐれた取組み>

評価	監査部署	チェック項目	内容
◎	総務企画課	A1	<p>役場だよりの内容を簡潔にし、枚数を減らす工夫をしています。</p> <p>ノーマイカーデーの目標を12回に設定しています。定住自立圏でもノーマイカーデーの取り組みに力を入れています。</p> <p>【ポイント】役場だよりは従来のページ数にこだわらず内容を精査することで、読みやすさ（町民サービス）と業務縮減（行革）、紙資源節約（環境配慮）の「三方よし」を達成しています。</p>
◎	町民課	A1	<p>生活安全推進協議会の賛助会員への領収証にお礼文章を組み込むことで、お礼状を廃止し、紙の使用量を削減しています。</p> <p>【ポイント】こちらも従来方式にとらわれず、書類を1枚減らすだけでも、紙資源と業務量を減らせます。町民へのアピールにもなっています。</p>
◎	出納室	A1	<p>納入通知書の裏面に、LAS-Eのロゴと説明を印刷しています。環境配慮の意識を広めるための取り組みとなっています。</p> <p>【ポイント】町民との直接の接点がなくとも、広く情報発信できる手段を見つけてアピールすることができます。</p>
◎	教育課	A4	<p>サタデースクール、自然体験教室、生涯学習、アウトドア教室など自然環境に触れる多様な学習機会があります。北部3町リーダーズキャンプでは、外来種のザリガニを捕獲して食べる体験も行い、ユニークな活動をしています。</p> <p>【ポイント】子どもたちが体験を通して環境の課題に触れ、楽しみながら学べる仕掛けとなっています。</p>
◎	建設課	A5	<p>エネルギー使用について、パソコンの自動電源OFFや裏紙利用などに取り組んでいます。</p> <p>ノーマイカーデーについて、5~10月の間に全体の目標では月1回のところ、月3回という目標設定をしています。</p> <p>【ポイント】業務上、公用車の稼働が多いことを意識したノーマイカーデーの目標設定をしています。職員個人の行動と業務特性を統合的にとらえる視点が持っています。</p>
◎	車両センター	A5	<p>ガス給湯器を設置していましたが使用機会がなく、最低限必要な時はコンロを使えばよいと判断し、ガスの契約自体を取りやめました。思い切った取り組みを評価します。</p> <p>【ポイント】今ある施設・備品をそのまま維持するのではなく、使用状況を客観的に判断して廃止の決断をすること</p>

			も、ベースのエネルギーコストを抑える有効な手段です。
◎	発達センター	G2	<p>保護者が寄付した品をフリーマーケットで販売し、収益金を教材費に充てる活動を、数年前から実施しています。</p> <p>【ポイント】子どもたちの学習の充実化とリユース（環境配慮）を両立しており、保護者の参加が前提の協働の取り組みでもあります。</p>

<改善が必要>

該当なし

## 5. 監査実施項目評価結果一覧

視点	設問No.	重点項目	取り組み内容	実施率 (◎/○)	評価 結果
M マネジメント	(本)	協議と指示	首長による定期的協議、適切な指示	100.0%	○
	(事)	事務局の状況	環境に関する取り組みの状況と変更点 マネジメント上の変更点・改良点	100.0%	○
	(事)	庁内のコミュニケーション	環境マネージャー会議の開催 推進本部会議の開催、町長指示への対応 基本方針の周知・指導	100.0%	○
	(事)	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	100.0%	○
	1	各課の状況	業務内容・人員等	—	○
	2	教育、研修等の 状況	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	100.0%	○
	3	課長や職員の認 識の確認	環境方針・目標・組織体制の認識 環境影響の把握 課の業務に応じた環境活動の実施	100.0%	○
A アクション	(事)	施設・設備の改 善による省エ ネ・省資源	公共施設における再生可能エネルギー等の導入 施設の新設・更新時における環境配慮設備の検討	100.0%	○
	(事)	地域環境保全や 各課の環境関連 事業・予算の把 握	施策・事業の成果、予算等の把握 環境関連事業の評価	100.0%	○
	(事)	住民や事業者に よる環境活動の 把握	住民・事業者主体の環境活動、協働事業の実施・ 把握	100.0%	○
	1	仕事の改善によ る省エネ・省資 源	省エネ・省資源、節水・排水負荷削減、紙の節 減、廃棄物削減・リサイクル、グリーン購入 公用車使用の負荷低減、通勤時の負荷低減 施設常駐者、出入業者への配慮要請 事前書面調査表に記載の環境負荷・特殊業務の状 況と取り組み	100.0%	○
	2	地域環境保全・ 本来業務での取 り組み	SDGs への認識	100.0%	○
	3	環境基本計画に 関わる取り組み	第2期環境基本計画に関わる取組（水環境保全、 森林・農地の保全、生物多様性、廃棄物や有害物 質の排出削減、地域資源の活用、産業育成）	100.0%	○
	4	環境教育・ESD の取り組み	環境学習・ESDの実践内容、取り組み方針 保護者や地域住民との関わり	100.0%	○
5	独自の取り組み	独自の環境配慮の工夫、実践	100.0%	○	
ガ バナ ンス	(事)	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開 公共事業に関わる環境負荷の情報公開 環境に関する意見・苦情への対応	100.0%	○
	1	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開	100.0%	○
	2	住民・事業者と の協働	環境保全事業等への住民参画状況 計画の策定・改定への住民参画	100.0%	○

(本) : 推進本部に対する監査項目

(事) : 事務局に対する監査項目

実施率: 監査項目の評価が◎または○の個数の割合が 80%以上なら○、60%以上 80%未満なら△、60%未満なら×と評価

## 6. 部署ごとの総合所見

監査対象	総合所見
推進本部長 (副本部長)	気候変動による農業への影響と廃プラスチック対策への課題意識をお持ちで、啓発を進めていきたいとのコメントがありました。 民間による開発については、限られた森林面積が維持されるよう、伐採の管理や植林の推進など、町としても積極的な働きかけをしていただければと思います。
総務企画課	業務と関連付けてノーマイカーデーに力を入れて取り組んでいると感じます。地域住民への周知も行い、環境に関する働きかけもできていると感じます。
町民課	ごみ、エネルギー、資源などと直接関係するかであり、課内でも独自に取り組んでいることがありました。特に「もぐもぐタイム」というものを設けており、親睦会等での食品ロス対策に力を入れていて、積極的に取り組んでいる様子が見られました。
建設課	地域保全隊の活動の意味（農村環境を自分たちの手で守ることの意義）を伝えて住民の主体性を高めるような呼びかけをしているところが素晴らしいです。 ノーマイカーデーについても高い目標を設定しています。
産業振興課	収穫祭、植樹祭による地域とのかかわりを持ち、環境対策への取り組みが見られます。 士幌町脱炭素スマートグリッド構築事業の検討に着手されており、町の特性を生かした再生可能エネルギーの活用がより進展することが期待されます。
保健福祉課	事務所内に入っている社会福祉協議会にも職員同様の活動をお願いしています。また、健康まつりなどで健康維持の情報を発信するなどSDGs関連活動を実施しています。職員だけでなく住民に対しても周知を図っており、大変よく活動されていると思います。
議会事務局	通常業務の範囲内で行えることは、例えば紙の有効活用、節電、徒歩通勤、ノーカーデーの徹底などは最大限適切に行っています。 全員協議会で町議全員にLAS-Eと環境配慮の取り組みを説明していくということで、新しく町議になられた方も含めて意識の浸透を図っている点が評価できます。
農業委員会	業務上の資料等の作成が多いため、紙の細かな分別・削減を徹底されています。また、会議の際にお弁当を出してもごみの持ち帰りを声掛けしたり、会合の際は食べ残しが出ないように持ち帰ったりと、住民への働き掛けも行われています。
出納室	住民と直接の接点がない分、通知書などで環境取り組みを周知するよう工夫してカバーしています。納入通知書裏にLAS-Eのロゴと説明書きを印刷している点は、環境に対する住民の意識を高めるための先進的な取り組みで評価できます。
教育課	多種多様な施設管理を行っている中で、環境に対する取り組みや周知等が非常によく図られています。各種講座では環境に暗連づけた取り組みを行っています。特に外来種（ザリガニ）の駆除体験事業は特筆すべき取り組み

	みです。町内学校に対して SDGs を意識した取組みを心がけるよう働きかけています。
車両センター	職員だけでなく業者の方も勤務していますが、その方々にも職員同様に LAS-E を周知し、節電・節水等に取り組んでいます。 スクールバスが学校統合に伴い 1 台増加したため、水の使用量がその分増えてしまったとのことでした。これについて、使用量増加の把握をし、天気予報を考慮しながら洗車日を決めるなどの対策が取られているところは良いと思いました。
国保病院	全体としては職員同士で情報を共有し取り組まれていました。病院としての業務上、一律の削減ではなく、施設の状況にあった目標設定を検討する必要があるのではないかと感じました。エネルギー削減目標でガス使用量の削減を掲げていますが、業務量により変動する（特定の医療器具のみで使用）ため、使用量の把握のみで良いのではないのでしょうか。
発達センター	ソフト的なエネルギー削減については大変よく実施されています。 卒業した子どもの保護者が不要になったものをセンターに寄付し、ふれあい広場に出店、益金で教材購入しているのは良い取り組みと感じられました。 子供への啓発として、環境やごみ分別に関する本を置いて紹介しています。
特養ホーム	職員への周知、コピー氏の裏面利用、消灯などは実施できており、照明も LED に変えています。 敬老会で弁当容器の持ち帰りを実施し、ごみ削減・リサイクルの意識を高めていることも評価できます。 SDGs のポスターを掲示して啓発を図っており、今後はゴール 7 を意識してエネルギーロスを減らすためボイラーの交換を検討しているとのコメントもありました。
中土幌小学校	環境活動への意識が徹底されています。また、働き方改革を心がけ、残業などを減らすことによってエネルギー削減につながっています。 PTA 活動で親子で池の清掃を行ったり、児童会が製作した環境ポスターを掲示するなど、児童や保護者らによる主体的な活動も行われています。
事務局	各部署でエネルギー使用量等を報告する際に、目標を達成できなかった場合はその理由を記入するようにしました。単に数値のみを報告するよりも、原因追求と対策検討が促進されるよい仕掛けだと思います。 部署別目標設定は従来通り継続されていますが、SDGs 研修も実施している今、これに関連する目標設定を促すことも一つの手段かと思います。